

クロープボックス(NBL-2型) 集積用設備

自動搬出、栽培面積58㎡、作業スペース付き、ソーラ電源・雨水使用野菜工場

1、設置条件

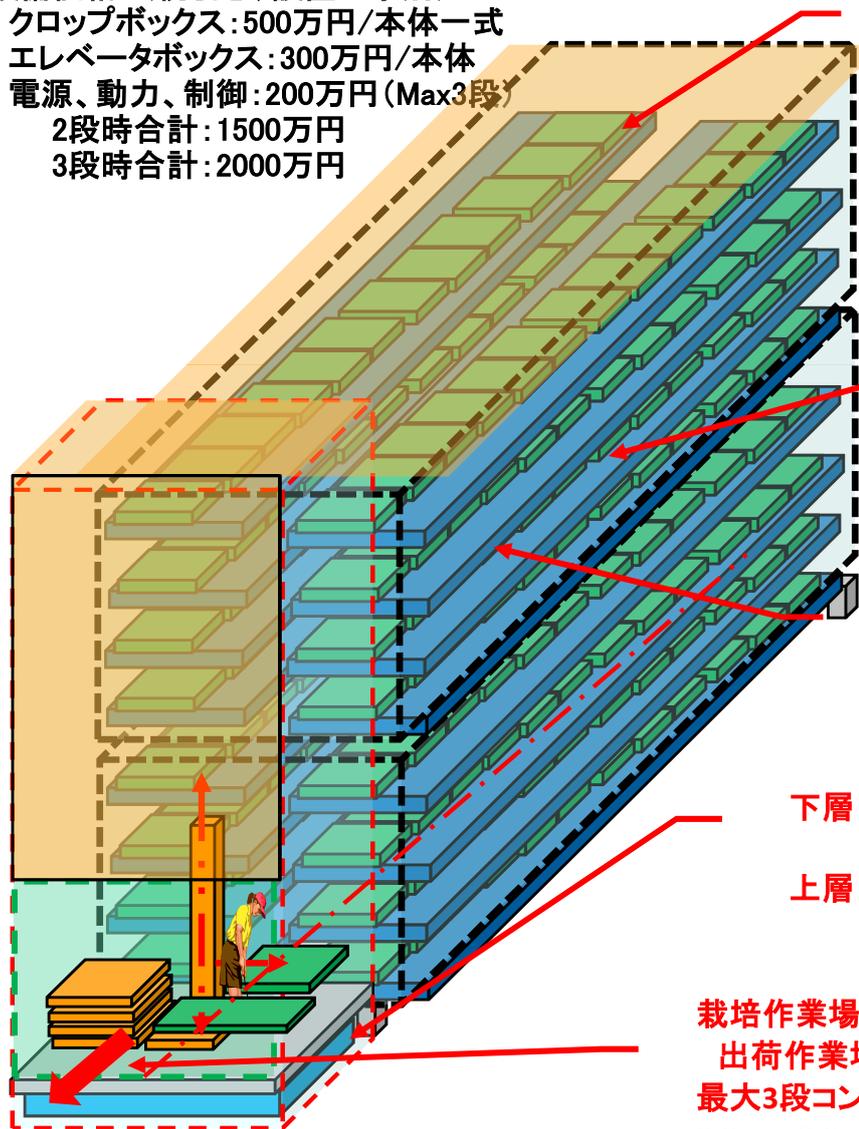
建築物にならない、設置移動可能な40ftコンテナクロープボックス。
基礎にフック固定。太陽光発電60kwh,雨水利用。
設営は農地、雑種地、山間部、水上可能。
基本構造は1型と同じ、中央通路のハンドリングリフト付き、PS0.6m角発泡パレット160枚栽培。

2、用途

農業用設備(ビニールハウス)施設とする。生産効率、設置面積最小とする設備。
短期収穫の葉物野菜(レタスなど)の場合は、消費地近接に設置が効率的。
レタス生産の試算では、2段コンテナで1名作業の毎日の生産出荷量は150kg。
最大4段積層、各コンテナにリフター取り付け、上下リフターに接続する構造。
仕様コンテナは、内寸法2655mm高さのハイキュー部使用。(栽培可能高さ530mm)

3、設備価格 (税引き、設置工事別)

クロープボックス:500万円/本体一式
エレベータボックス:300万円/本体
電源、動力、制御:200万円(Max3段)
2段時合計:1500万円
3段時合計:2000万円



太陽光発電、不足分は公共電源
(40㎡、60kwh/h day)
雨水取得

作付面積:115㎡
温室、水耕栽培
生産量:推定150kg/日
作業者:1名~2名
高級野菜@¥1000/kg:

水耕栽培パレット
0.6m * 0.6m * 30mm
40面 * 4段 = 160面パレット
水耕(60mm * 12000 * 60 * 8面)

下層:蓄電池(50kwh)、水槽(2トン)

上層:空調(エアコン、1.2kw * 2基)
照明(LED栽培照明、)
自動制御

栽培作業場:上下リフト床
出荷作業場、発芽作業場
最大3段コンテナ内リフト連動
2.3m * 2.3m、上下約5m可能

床に180度旋回、3方位パレット
移動可能なハンドリングリフ
ター内装、製品出荷は1F

注意: 発芽栽培方法により異なるが、水耕栽培パレットに発芽植物植え付けで水耕栽培は、共通適用。パレット式水耕材倍採用の多段式クロープボックス。

NBL International Co., Ltd

Head office factory
〒590-0522 631, makino, shindachi, Sennan-shi, Osaka, Japan
Tel: +81-724-93-3091 Fax: +81-050-3495-6245
E-MAIL: support@nblmt. ip URL: http://nblmt. ip

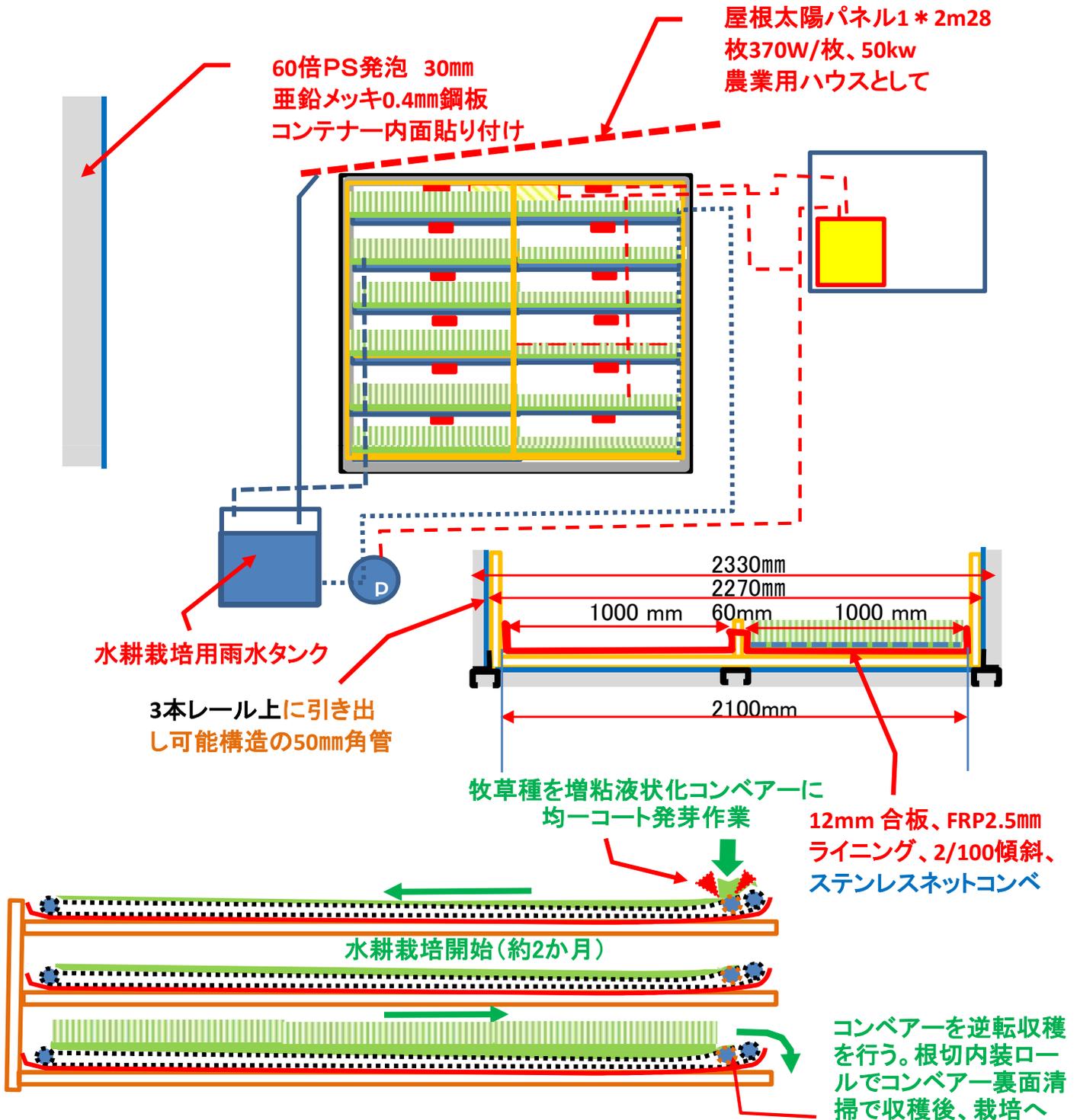
代理店 URL: <http://anzen-anshin.or.jp>

一般社団法人 次世代農業研究所
〒544-0015 大阪市生野区巽南5-14-14-901
Tel: 06-6796-7503 E-mail: itakeretsu@gmail.com

クローブボックス(NBL-3型) 牧草飼料栽培用

牧草など家畜用飼料生産用は連続体コンベアー上で生産

NBL-3型は無電力・無水の全自然エネルギーと雨水による牧草など家畜飼料の生産用クローブボックスです。使用するコンテナは40ftハイキューブを使用します。内寸高さが2655mm(幅2330mm)で牧草の栽培高さが低いので6段棚、2m幅栽培で11.5m長さの栽培を可能にします。すなわち、140㎡の栽培面積がえられるため、必要太陽光を28枚(50kwh以上)と、十分な雨水を確保します。自動制御で換気、温度、湿度、LED制御を行い、牧草を約2.4トン/月(最も困難なグラムハピネス)収穫できる。



NBL International Co., Ltd

Head office factory

〒590-0522 631, makino, shindachi, Sennan-shi, Osaka, Japan

Tel: +81-724-93-3091 Fax: +81-050-3495-6245

E-MAIL: support@nblmt.jp URL: http://nblmt.jp

代理店

URL: <http://anzen-anshin.or.jp>

一般社団法人 次世代農業研究所

〒544-0015 大阪市生野区巽南5-14-14-901

Tel: 06-6796-7503 E-mail itakeretsu@gmail.com

クロープボックス(NBL-1型) 構造図

自動搬出、栽培面積50㎡、発芽棚、作業スペース付き、無電源・無水野菜工場

内部環境設備は、温度、湿度、炭酸ガス濃度、水耕栽培溶液管理、育成ライトの自動管理。
必要エネルギーは、全て太陽光発電による電気とする。

スペース： 実行栽培パレット600mm * 600mm * 30mm発砲PS(ハンドリングマグネット鉄板付き)

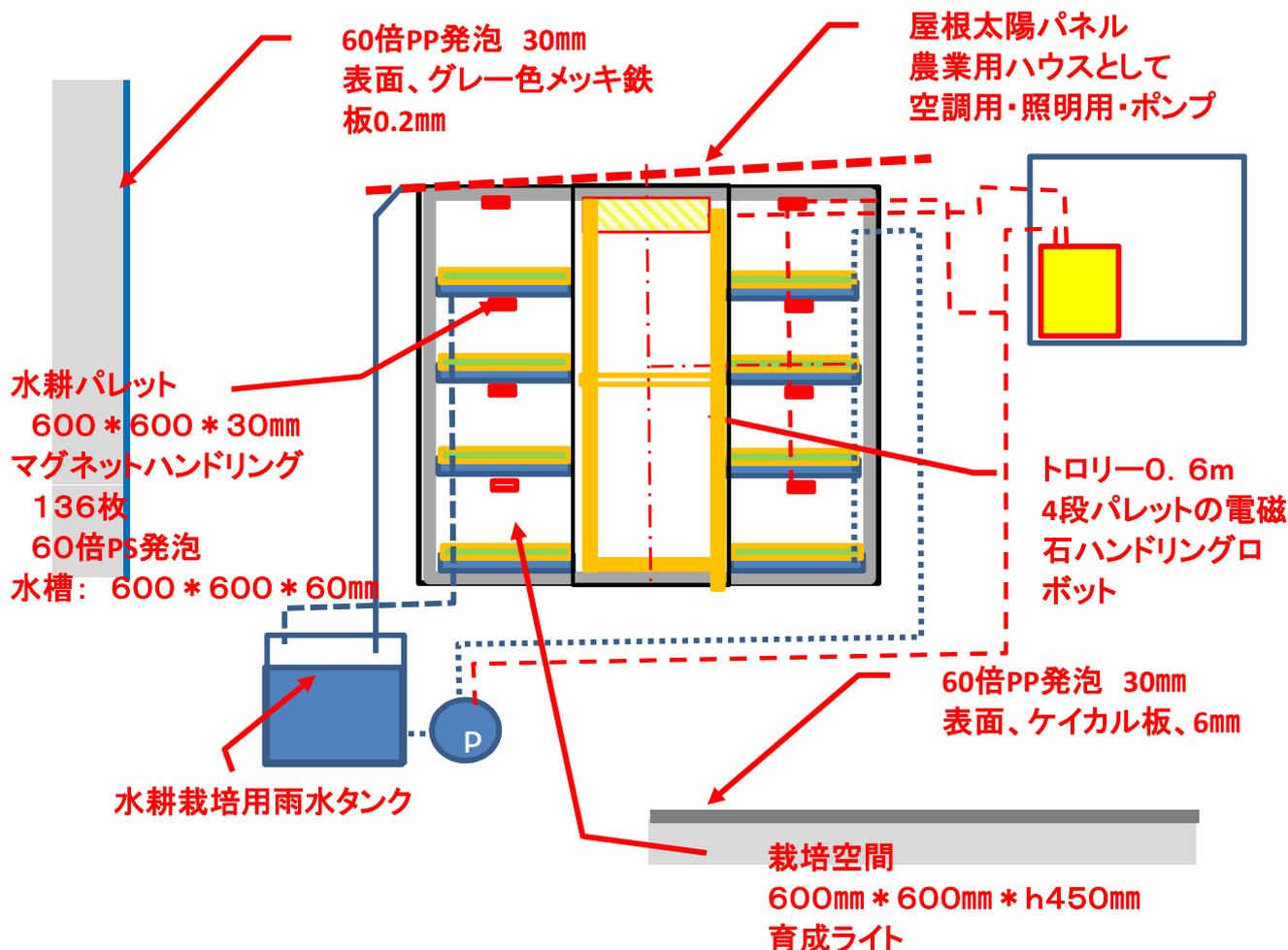
栽培面積： 600角 * 17枚 * 8列、81.6㎡ LEDライト30w: 136ヶ

通路：中央600mm、前後作業スペース0.9m * 2.3m。4㎡

電力： 約40kwh/日(推定6時間、2㎡ソーラ18枚)、

壁の断熱材

設置用途：スーパーレストランの駐車場空きスペース設営、64kg/日生産能力の野菜栽培設備



推定生産能力： 2018年12月5日日刊工業新聞記事参考データで試算

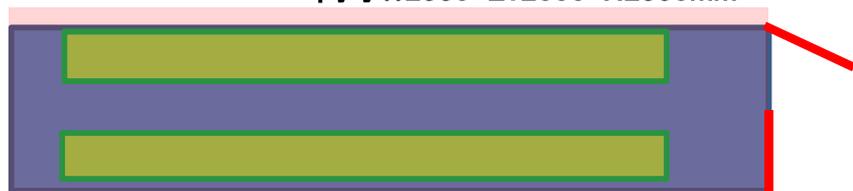
レタスの栽培試算する。38日間で140g/株 (Max¥140円)、64kg/日 (¥6400/日) 出荷450株/日。

計画プラント売価： ¥700万円(一式、税引き)

現地据え付け費別途。納期：契約後60日

コンテナ：40ft海洋コンテナ使用、色：グレー

内寸W2330*L12000*H2350mm



後部スペース: 0.6 * 2.3m(発芽スペース) 前部スペース: 1.8 * 2.3m(出荷・作業スペース)

NBL International Co., Ltd

Head office factory

〒590-0522 631.makino, shindachi, Sennan-shi, Osaka, Japan

Tel: +81-724-93-3091 Fax: +81-050-3495-6245

E-MAIL: support@nblmt.jp URL: http://nblmt.jp

代理店

URL: <http://anzen-anshin.or.jp>

一般社団法人 次世代農業研究所

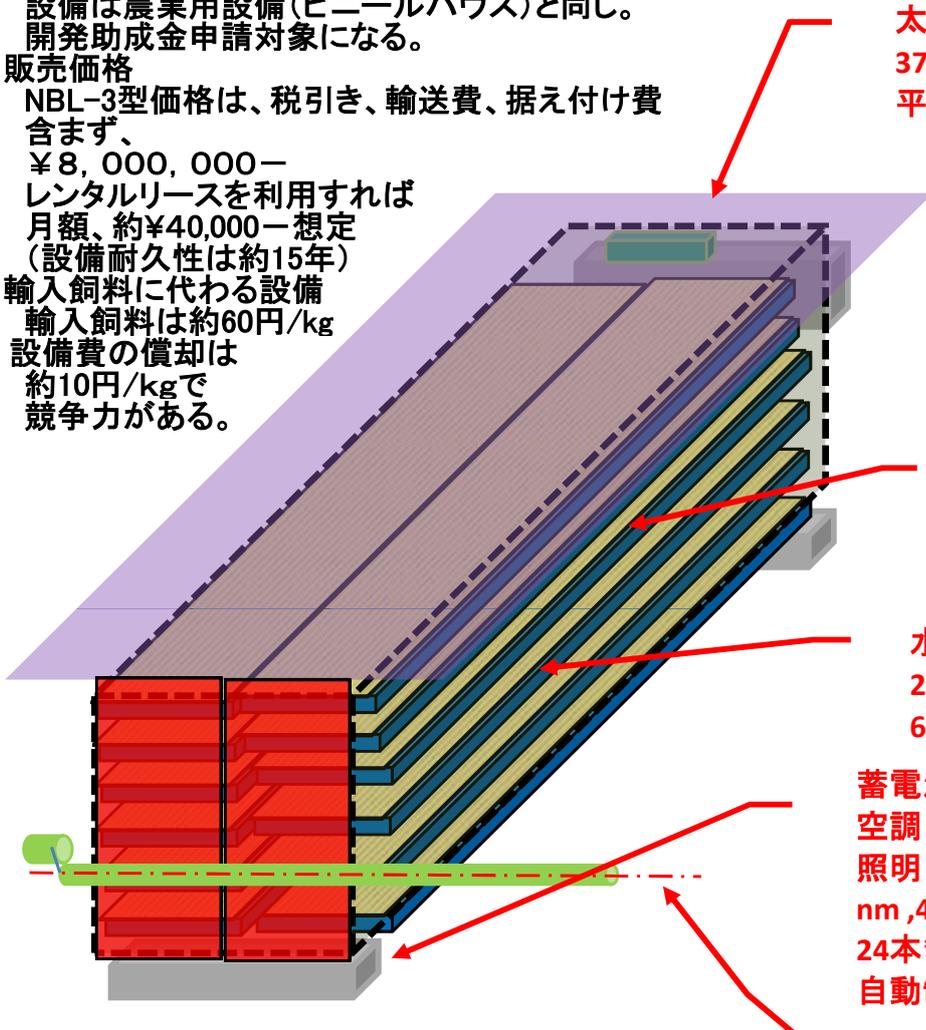
〒544-0015 大阪市生野区美南5-14-14-901

Tel: 06-6796-7503 E-mail: itakeretsu@gmail.com

牧草栽培クロープボックスの特長

設置条件： 牧草生重量1トン生産にレンタル設備費1万円。(牧草償却10円/kg)

- 1、 建築物にならない、設置移動可能な40ftコンテナハウス。
基礎にフック固定。電気・水公共ユーティリティー接続しない。
農業用施設。
- 2、用途 生産量：実験ではグラムはピラス牧草で推定約5 m³/40ft (約2.4トン)
成長の早い牧草では2倍程度の収穫が見込める。
設備は農業用設備(ビニールハウス)と同じ。
開発助成金申請対象になる。
- 3、販売価格
NBL-3型価格は、税引き、輸送費、据え付け費
含まず、
¥8,000,000—
レンタルリースを利用すれば
月額、約¥40,000—想定
(設備耐久性は約15年)
- 4、輸入飼料に代わる設備
輸入飼料は約60円/kg
設備費の償却は
約10円/kgで
競争力がある。



太陽光発電 2 * 1m(4 * 14m)
370W,28枚 (10kw/h * 5/ day)
平均50kwhr発電。

必要動力の推定
外気温10℃仮定25℃栽培に空調
空調： 1. 2kw
LED必要電力： 18W*120本=
21.6kw

作付面積：140m²
温室、水耕栽培
生産量：推定4000kg/月
作業者：1名(自動運転)

水耕栽培パレット
2m * 11.5m
6段=6面パレット

蓄電池(50kwh)、水槽(2トン)
空調(エアコン、1.2kw * 1基)
照明(LED栽培照明、波長660
nm,460nm), 18W,1.2m
24本*10列=240本、4.3kw
自動制御

全自動牧草送りスプリング
チューブコンベアー

オプションで出荷自動ライン
が設置可能。

5、NBL-3型の特長

牧草の栽培専用機として設計。ステンレスコンベアーで栽培種の発芽の植え込みを増粘液体平滑化して、能率を優先。
必要な太陽光(LEDエネルギーを確保)に近い育成LEDライトを設置。
(栽培品種により選択波長が異なるため契約前に引合い仕様に明記必要)
屋外低温でもボックス内は30℃保持できる。
適用作物に関する栽培条件(肥料、温度、LED照射条件など)は、栽培者の必要ノウハウで、設備メーカーは適用できません。
契約後の納期は、仕様内容により異なる。標準は4か月必要。
品質保証は1年間。

6、注意事項

7、契約

NBL International Co.,Ltd

Head office factory

〒590-0522 631, makino, shindachi, Sennan-shi, Osaka, Japan
Tel:+81-724-93-3091 Fax:+81-050-3495-6245
E-MAIL:support@nblmt.jp URL:http://nblmt.jp

代理店

URL: <http://anzen-anshin.or.jp>

一般社団法人 次世代農業研究所

〒544-0015 大阪市生野区巽南5-14-14-901
Tel:06-6796-7503 E-mail itakeretsu@gmail.com